

取扱説明書



マキロン・リアバケット



2025 年 6 月版

株式会社 ケイ・エス・エンタープライズ

目次

はじめに 各部の名称	1
安全に作業を行っていただくための注意点	2 - 4
1. 他の作業機から本機に付け替える場合の注意点	
<トップリンクサポートとトップリンク、PTO シャフトの取り外し>	
<オートヒッチが取り付けられている場合>	
<2 点リンクタイプのトラクターの場合>	
2. 走行についての注意点	
3. その他の注意点	
連結手順	5 - 7
1. ロアーリンクの取り付け調整穴の変更	
2. 本機とロアーリンクの連結	
3. 本機と長尺トップリンクの連結	
4. 本機とトラクターの位置と振れ幅の調整	
5. 本機と接地面との角度調整	
仕様 ご意見、お問い合わせ	8

はじめに

このたびはマキロン・リアバケットをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
この取扱説明書は、本機の取り付けや操作、あるいは保守点検などを行う際にお役立ていただく
ものです。作業の前に内容をよく読んでいただき、本機を最良の状態で安全に使用していただき
ますようお願いいたします。

品質の向上や安全性、その他の理由で本書の内容の一部が実際と一致しない場合があります
ので、あらかじめご了承ください。

各部の名称



【ロアーリンク(左)】



【ロアーリンク(右)】



【本機(リアバケット)】



【長尺トップリンク(別売)】

安全に作業を行っていただくための注意点

1. 他の作業機から本機に付け替える場合の注意点

<トップリングサポートとトップリング、PTO シャフトの取り外し>

ロータリーなど他の作業機から本機に付け替える際は、作業機本体の他に、トラクターに取り付けられているトップリングサポートとトップリング、そして PTO シャフトも同時に取り外しておいてください。

- * トラクターの PTO 軸から PTO シャフトを取り外す際は、根元に付いているピンの頭部を押しながら引き抜いてください。



◆ トップリングサポートとトップリングを付けたまま使用した場合

元々トラクターに取り付けられているトップリングサポートとトップリングをそのまま使用すると、本機を持ち上げた時、本機とトラクター本体が接触し破損する場合がありますので、トップリングサポートを取り外し、適正な長さのトップリングに取り替えてください。

- * トップリングの長さは、トラクターの種類により異なります。お買い求めの際は、お持ちのトラクターの型式を弊社スタッフにお知らせください。

◆ トップリングサポートを外せないトラクターの場合

本機を持ち上げた時に、シートの後部付近と本機が接触して破損する場合がありますので、以下のような設定や、操作を行ってください。

- * 上げ過ぎないように、作業機昇降レバーのストッパーで上限位置を設定してください。
- * 高さ調整ダイヤルが付いている場合も、上げ過ぎないように、上限位置を設定してください。
- * 作業機昇降レバーのストッパーや高さ調整ダイヤルが付いていない場合は、トップリングと PTO シャフトの間隔を確認しながら、慎重に上げ下げを行ってください。
- * バックアップ機能が付いている場合は、「切」にしてください。

＜オートヒッチが取り付けられている場合＞

ロータリーをワンタッチで脱着できるオートヒッチの類が取り付けられている場合は、本機を取り付ける前に、取り外しておいてください。

【各種オートヒッチの例】

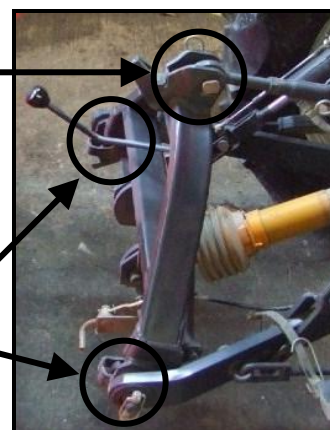


* オートヒッチの取り外し方

オートヒッチはトラクター付属のトップリンクと左右ロアーリンクの取り付け部分の切り離しによって、取り外すことができます。

【トップリンクの取り付け部分】

【左右ロアーリンクの取り付け部分】



【オートヒッチの取り外し】

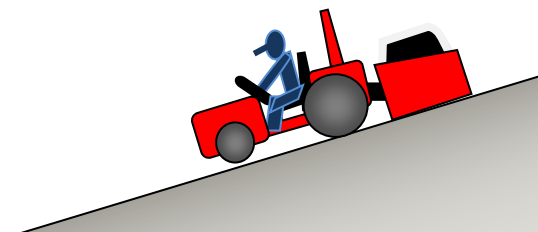
＜2点リンクタイプのトラクターの場合＞

本機は12馬力以上で、3点リンクタイプのトラクターに対応するように設計されています。2点リンクタイプのトラクターには、弊社オリジナルの3点リンクキット(別売)を取り付けることによって本機の使用が可能になります。

2. 走行についての注意点

- * 運搬時は本機を地面から軽く浮かせる程度に保ち、副変速を中速以下に設定して、急発進や高速走行は決してしないでください。
本機を高い位置に上げた状態で急発進や高速走行をすると、前輪が大きく浮き上がり、大変危険です。

- * 傾斜地における積載走行は、右図のように常に前輪が坂下になるようにしてください。



- * 本機を人の運搬に使用しないでください。
- * 一時作業機上昇機能(ボンパ)は使用しないで、手動で上げ下げを行ってください。
- * 二輪駆動に本機を取り付ける場合は、安全な重心バランスを保つためにフロントバンパーウエイトの装着をおすすめします。

バンパーウエイト(20kg ・ 30kg)なども販売させて頂いております
--

3. その他の注意点

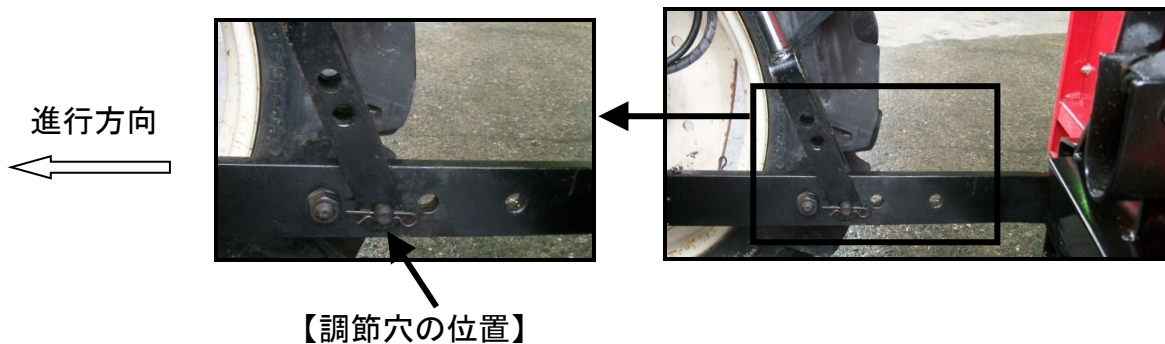
- * 本機は様々な種類の材料や物資の運搬作業に加え、砂利や土、あるいは堆肥のすくい取り作業や除雪作業にも使用できるように設計されています。本来の目的以外に使用したり、改造したりしないでください。
- * 作業中は本機やトラクターの周りに人を近づけないようにしてください。
- * 本機の下や本機とトラクターの間に入らないようにしてください。
- * 作業の開始前、あるいは作業の終了時は、ボルト、ナット、あるいはピンの脱落やゆるみがないか、点検してください。
- * 本機の点検、あるいは修理を行う際は、必ずトラクターのエンジンを停止してください。
- * 活動的な服装で作業を行ってください。

連結手順

1. ロアーリンクの取り付け調整穴の変更

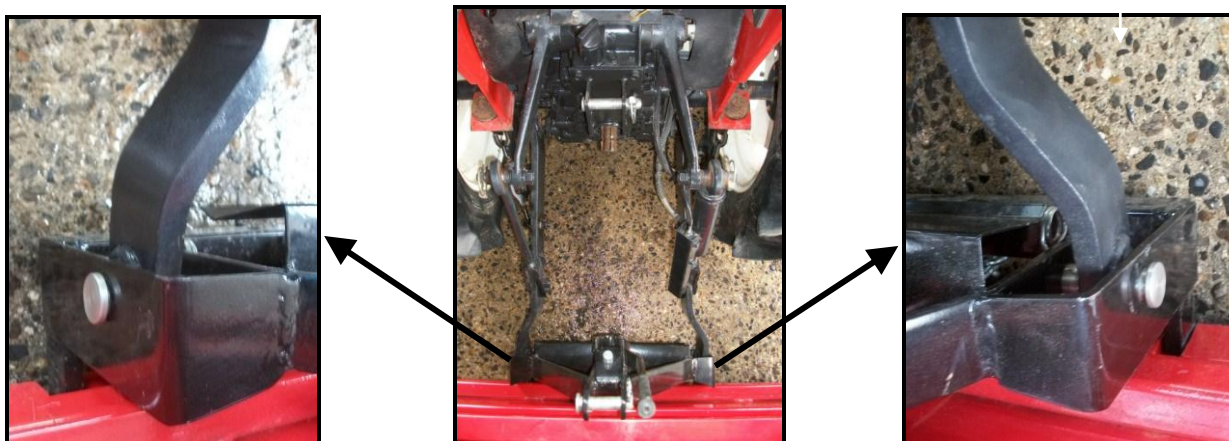
ロアーリンク先端の取り付け箇所が、本機の取り付け箇所に届くように、調節穴は最下限、最前位置を選択してください。

- * 本機から再び元の作業機に戻す必要がある場合は、元の調節穴の位置に印を付けるかメモを取っておかれることをおすすめします。



2. 本機とロアーリンクの連結

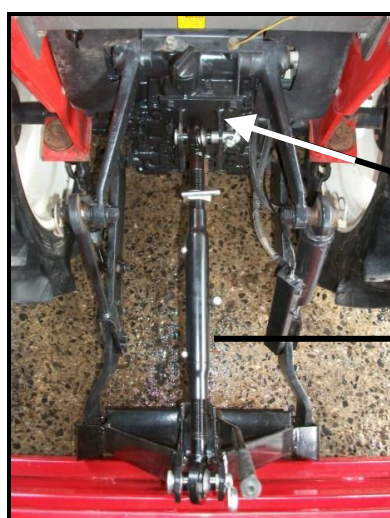
本機にトラクターからの左右ロアーリンクを連結させてください。



3. 本機と長尺トップリnkの連結

本機とトラクターをトップリnkで連結させてください。

- * トップリnkは、ロックナットの位置が取り付け部分に近い方をトラクター側に取り付けてください。

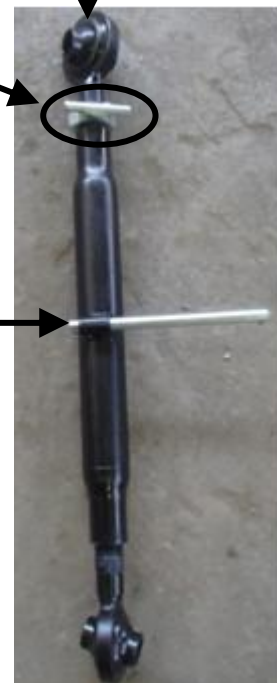


トラクター側の取り付け穴の位置は、一番上が理想的です。

【ロックナット】

【長尺トップリnk】

こちら側をトラクターに取り付けてください。



4. 本機とトラクターの位置と振れ幅の調整

本機を少し持ち上げ、ターンバックルでトラクターの左右のタイヤを結ぶラインと本機が平行になるように調整してください。さらに、本機を左右に揺らした時、振れ幅が 10mm 以下になるように調整してください。



【ターンバックル(左)】



平行になるようにします。

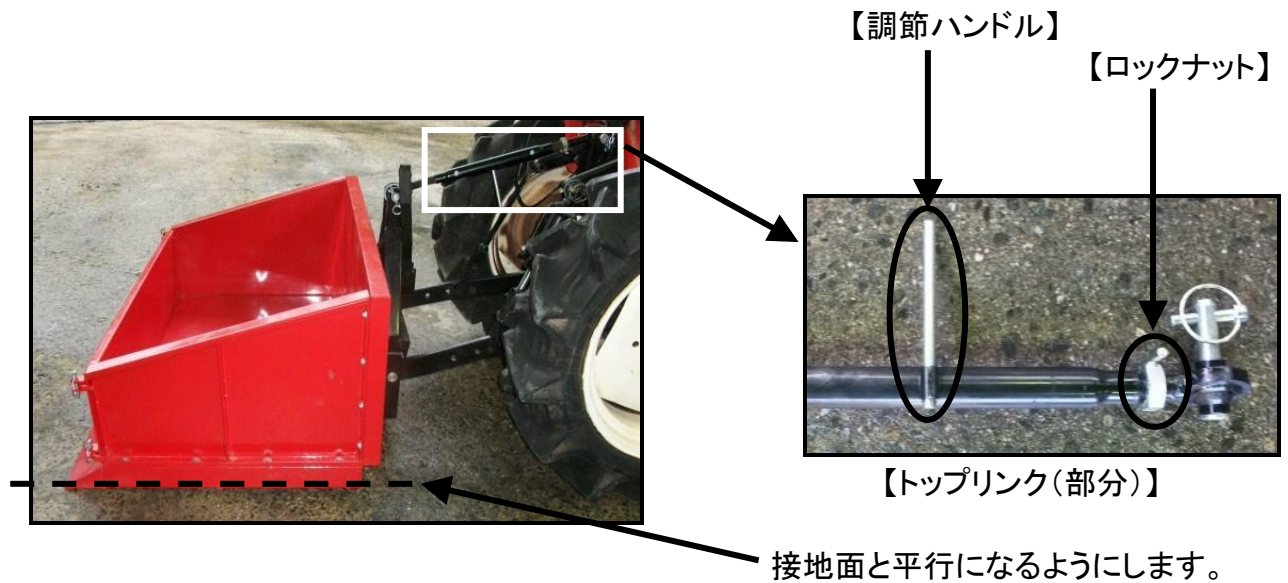


【ターンバックル(右)】

5. 本機と接地面との角度調整

本機を少し持ち上げ、トップリнкの長さを調節して、本機と接地面が平行になるように角度調整を行ってください。

- * トップリнкの長さの調整は、ロックナットをゆるめてから調整ハンドルを回して行います。調整が終了したら、ロックナットを締め直してください。



仕様

型式		RB120
トラクターの適応馬力		18 馬力以上
外寸	長さ	900 mm
	幅	1200 mm
	高さ	530 mm(レバー含まず)
内寸	長さ	640 mm
	幅	1,110 mm
	高さ	460 mm
最大積載量		180 kg
自重		115 kg

ご意見、お問い合わせ

本機についてのご意見やお問い合わせがございましたら、下記のところまでご連絡ください。

株式会社 ケイ・エス・エンタープライズ

整備センター : 〒518-1152 三重県伊賀市予野 1534

事務所 : 〒604-8841 京都市中京区壬生東土居ノ内町 17 番地 5

TEL : 0120-611-567

E-mail : info@chuko-noki.com